

事 務 連 絡
平 成 25 年 8 月 30 日

株式会社東芝 御中

文 部 科 学 省
研究開発局原子力課

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」をご参照願います。

課題名	高専や大学・企業連携による臨界実験装置 NCA を利用した炉物理実習
実施機関	株式会社東芝
実施期間	平成22年度～平成24年度

【評価結果】

S	極めて優れた成果があげられた
---	----------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

●参加校との事前の打ち合わせ、参加学生に対する事前講義の実施、そして、アンケート結果の次年度研修への反映、さらに、社会の関心に対応した研修内容の追加など、本研修の充実を図ろうという積極的な姿勢は高く評価できる。その結果が、受講希望者の増加や参加学生のモチベーションの向上に表れているものと推察される。

●民間企業が自社の原子力施設を開放し、実験装置利用を含む学生向けの実習カリキュラムを開発することにより、学生を対象とした原子炉の実習機会を設けたことは、大いに評価できる。

●臨界近接および反応度測定実験は、原子炉の理解を深めるのに大変有効なものであり、民間企業の臨界実験設備を利用して、大学生および高専学生の炉物理実習コースを設定した本事業は、産学連携による設備共同利用の良好事例といえる。

＜今後への参考意見＞

●我が国における原子力人材育成の重要性に鑑み、事業の継続性を確実なものとするため、人件費等のコスト削減について再考し、補助期間終了後においても、幅広い分野の学生を対象とした原子力人材の育成を可能とするための体制構築を検討して頂きたい。

●可能な範囲で、他のメーカーや電力会社とも協力して、より広範囲な分野の原子力人材の育成に努めて頂きたい。